MASTERING ANUBIS & DAW SETUP



Setup

このセットアップで Anubis は、モニタリングとマスタリングの両方に使用されます。また、外部アナログ機器のイ ンサートも行います。

DAWのプレイバックはAnubisのSource "DAW 1-2" で再生されます。

Anubis は Anubis 本体のXLR 1-2 に接続された リファレンス モニター でDAWを再生します。

外部アナログ機器には Anubis のTRS出力3-4から信号を送り、Combo 1-2 に外部機器からの信号を入力し ます。

DAWはマスタリングした音を録音します。この音は Anubis で Source を "FX 1-2" (Pre VST/VS3)または "Master"(Post VST/VS3)を選択するとで聴くことができます。

必要なもの

Merging Audio Device ドライバーをインストールしたPC または RAVENNA Virtual Audio Driver をインス トールしたMac





手順

1. 次の様に、3つの "Source" を作成してください。



- 2. Anubis の Home ボタンを長押しして、Settings > Source に入ります。そこで次のものを作成しま す。
 - a. DAW 1-2:この Source は、外部エフェクトへ送り出す前のDAWのプレイバックです。ソース がステレオなら、Stereo を Type に選択してください。
 - b. FX 1-2: この Source は、外部エフェクトからのリターンである Combo 1-2 に接続した信号に 設定します。

< Sources	FX 1-2	00	🗄 🗹 M 192kHz
SOURCE			-
C Enabled			
🗊 Name		FX	1-2
Туре			Stereo
🚅 Trim			0.0 dB
CHANNELS			-
•	Туре	Patch	
1	Left	Com	bo 1/2_1
2	Right	Com	bo 1/2_2

- c. Master 3-4:これはファイナルマスターの音に設定します。外部インサートの後で、DAWの VST/VS3エフェクトの後の音です。これにも Stereo をTypeで選択してください。
- 3. ANEMANを起動して次の図の様に Source と PreAmp を接続してください。この例では、MassCore を使用した Pyramix との接続を例にしていますが、Merging Audio Device(ASIO)や RAVENNA VAD(CoreAudio)を使用している場合でも同様です。
 - a. "MassCore Output 1-2" は、"DAW" の Source に接続してください。
 - b. "MassCore Output 3-4"は、"Master" の Source に接続してください。
 - c. Anubis の "Combo 1-2" は、"MassCore Input 1-2" (または ASIO/VAD Input 1-2)に接続 してください。



T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



Note: "Combo 1-2 Output" から "FX 1-2 Input" に接続されているグレイのブロックは、Anubis の内部接続 を表しています。



. dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

- 4. 次に Settings > Monitor を開いてください。
 - a. "Main 1-2" は、スピーカーに接続していますので、デフォルトのまま XLR 1-2 に Mode を "Speaker" として内部ルーティングしておいてください。
 - b. "Line 3-4" を外部エフェクト送りに使用しますので、Mode を "Cue" に変更してください。 Name も変更していただいて結構です。Patch はそのまま "Jack 3-4" で結構です。

< Monitors	FX :	3-4	௴ № M 192kHz
MONITOR			-
Enabled	k		
📑 Name	[FX	3-4
Node			Cue
A Mon->Cue Inactive			
Button Speaker E			
Type Ster			Stereo
CHANNELS	3		-
💽 Туре	Patch	Trin	n Delay
1 Left	Jack 3/4_3	0.0	dB 0.0 ms
2 Right	Jack 3/4_4	0.0	dB 0.0 ms

Note:フィードバックを避けるため、Mon->Cue Inactive を入れてください(Mon->Cue ができなくなります)。

- 5. 以下の例に従って、DAWとミキサーを設定してください。 Pyramixユーザーは、Anubis Mastering Project.pmx から入手できるテンプレートを使用できま す。
 - a. Strip 1 はDAWのプレイバックですが、MB2にアサインされ、そのバス出力(MassCore Output 1-2)から Anubis の Source "DAW" に信号が流れます。
 - b. Strip 2 の入力 (MassCore Input 1-2) は、Anubis の "Combo 1-2" からの信号 (これは外部 エフェクトのリターンです)が入ってきます。この音はPyramixのトラック3-4に録音され、MB1 から MassCore Output 3-4 に出力されます。
 - c. MassCore Output 3-4 は、前のセクションで Anubis の Source "Master 3-4" に流れていき ます。



T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp





dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp



Note:この例では、プラグインをPyramixミキサーに入れて使用しています。このプラグインのポストを録音した いので、ミキサーの Strip 2 上で必ず "Record Post Effects" に設定してください。



- 6. Anubis に戻ります。FX 3-4のソース選択を構成するために、Anubis本体の Speaker B ボタンを選択 してください。
- 7. Source 選択ページで、"FX 3-4 Cue" で、"DAW 1-2" をソースに選択してください。これは、DAWのプ レイバックが常に外部エフェクトチェーンに送られるようにするためです。

Note:外部エフェクトへの出力レベルの調整が終わったら、このモニターセットのレベルを変更しないでください。



8. 外部エフェクターからのリターンのレベルを調整するには、Anubis PreAmpで行います。PreAmpのレ ベルにアクセスするには、ホームボタンを長押しして、PreAmpを開いてください。





. dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

- 9. セッションのモニタリング レベルは Speaker A ボタンを押してロータリーボリュームで行ってください。 モニターソースを選択するだけで、スピーカーまたはヘッドフォンを使用して選択したソースをモニター することができます。
 - a. DAW 1-2 を選択すると、DAWのプレイバックの音が聴けます。
 - b. FX 1-2 を選択すると、外部エフェクターをかけた音が聴けます。
 - c. Master 3-4 を選択すると、外部エフェクトとプラグインがかかった音が聴けます。



Mid/Side と Mono のチェック

現在のAnubisでは、AnubisでMONOダウンミックスを有効にしてLとRのソロチャンネルチェックを行うと、ソー スLとRのミュートやソロではなく、スピーカーがミュートされてしまいます。

現在の Monitoring Mission のソースで、ミッドチャンネルとサイドチャンネルをより良くマスタリングコントロール するためには、2つのソースを作成し、モノラルでマスタリングソースの確認やサイドの位相チェックを行うため に、それらを有効または無効にする必要があります。

手順:

1. 2つの Stereo Source を DAW として作成します。

< Sources	DAW	M	48kHz
SOURCE			-
C Enabled			
🗐 Name	DAW		
Туре		Ste	reo
😅 Trim			0.0 dB

2. これらを DAW-ST-L と DAW-ST-R と名前をつけます(Webブラウザで名前は変更できます)。



T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp





3. ANEMAN で各Sourceの 1chのみを使用している DAW の出力に割り当てます。

	ANEMAN					-	
	Action View Settings Debug Help						
	Rearrange Zoom All Auto Zoom	New Logic Zon	Matrix View				8
		^		Anubis_Premium	Physical Outputs XLR 1/ Jack 3 Headp Headp	Sources stereo Ins DAW-{ DAW-	Talks { Tal Tal
Panner Bus Tools 1 Crone 8	Anubs Premium	> E ×	CONNECTIONS FROM >>>	CONNECTIONS Early (1+3) Early (2+3) Early (2+3) Early (2+3) Early 2-35 Early 2-35 E	XLR 1/2 - 1 XLR 1/2 - 2 Jack 3/4 - 4 Headphore 1 - Left Headphore 2 - Ruft Headphore 2 - Ruft	steree guitar - 1 steree guitar - 2 Inst/une 3 - 1 DAW-ST-4 - 2 DAW-ST-4 - 1 DAW-ST-R - 1	Talk 1-1 Talk 2-1
22.0 6 11 12 12 13 12 14 12 15 12 16 12 17 12 18 12 19 12 10 12 11 12 12 12 13 12 14 12 15 12 16	Anubis_Premium MassCore (on Tigidou)	iype	Image: Second		۰.	•••	
Stereo	¢		B MassCore Output 1 MassCore Output 2 MassCore Output 3 B MassCore Output 4		Ready for next oneration		>
Anubis_Premium_DAW-ST-R-	-2-1						

4. これらを Sum し、Monoにすることで Phase, Side, Mid の確認ができます。

Source の確認をする際には、Anubis のTFTやWebアクセスページで DAW-ST のソースの1つを選択解除し てください。こうすることで、両方のスピーカーがモノラルで動作したままになり、左チャンネルまたは右チャンネ ルのみを分離することができます。

Note:同様の方法はマルチトラックでも使用できます。



: dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp